

平成27年度

さいたま市立岩槻中学校だより

第10月号 (10月1日発行)



槻の若木

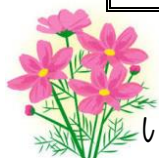
〒339-0054 岩槻区仲町1-14-35

電話: 048-756-0254

FAX: 048-758-7483

HP: <http://iwatsuki-j.saitama-city.ed.jp>

Mall: iwatsuki-j@saitama-city.ed.jp



「小さな勇気」

校長 小林 成行

いよいよ3日(ただし、陸上9/26~28・女ス2)から、平成27年度さいたま市新人体育大会が始まります。どの部活も、日頃の練習成果を発揮し、全力で正々堂々と元気にプレーしてくれるものと期待します。特に、新人戦ですので初めて公式戦に臨む人も多いと思います。悔いの残らぬよう頑張ってください。

また、大会に電車やバスを利用することがあると思います。そこで一つ話しておきたいことがあります。それは.....

私は、時折電車やバスを利用する事があります。その時、「いやだなあ」と思うことが三つあります。その一つは、混雑した状況の中で、ヘッドホンステレオを聴いている人のイヤホンから音が外に漏れていることです。すぐ近くで濁ったような音で「シャカ、シャカ」という単調なリズムを、無理やり聞かされるのはたまりません。ボリュームを絞るか、音の漏れないイヤホンを使ってはどうかと思います。二つ目は、数人のグループで周りの乗客がいるのにも係わらず、大きな声で自分たちしかいないように騒いだり、ふざけていることです。この二つの行動は、まさに自分だけ満足していればよい、周りの人のことを少しも考えない身勝手な人たちの行動なのです。



不快に思う事の三つ目は、七人がけの座席を六人、ひどいときには五人で占領していることです。目印には関係なく座る人や、隣の人との間隔を二十センチくらい開けて座ったり、荷物を自分の横に置いて席を占領している人、前に人が立っていようが平気、自分がちょっと左右によって七人目の席を作ってあげようとしなくて目立ちます。こんな事がありました。夜の8時頃だったでしょうか。電車に乗っているとき、向かい側の席は、七人分が六人で占められ、その前に四、五人が立っていました。駅で人がどやどやと乗り込んで来ました。その中の一人、二十代後半の女性が発車して間もなく、座っている人たちに声をかけて間を詰めさせ、一人分の場所を作りました。自分が座るのかと見ていると、隣に立っていたおばあさんに、「どうぞ」と言いました。深々と頭を下げるおばあさん。ところが、席を詰めさせられた中年の男性が、「ムッ」としたようなきつい顔で女性をにらみつけているではありませんか。堪えられなくなったのか、その女性は吊革を離れ、入り口のドアの方へ移って行きました。次の駅で降りるのかと思いましたが、そうではなく、そのままドアのそばに立って下を向いていました。やがて私の下車する駅が来ました。私は降り際に、自然にその女性に言葉をかけました。「さっき、見ていましたよ。偉いですね。」女性は「エッ」と小さな声を出し、また恥ずかしそうに、うつむいてしまいました。すがすがしさを感じさせてくれた一日となりました。



人々に、ほんの少しの心がけと勇気があれば、私達の生活は、もっと良いもの、豊かになるでしょう。ところが往々にして、善悪の判断はつきながらも、チョットの勇気、小さな勇気がわずかに足りないために、善いと思ったことを実行しないのです。私自身も、照れたり、もじもじしないで、小さな勇気を出して行動することの大切さを学んだ一日となりました。

皆さんも電車やバスに乗ったときは、周りのことを見て行動できる人となってください。